



つなぐつづけるつくりだす〜エコなミライへ〜 品川区立環境学習交流施設「エコルとごし」



今年5月1日、自然豊かな戸越公園内に、環境について楽しく学べる憩いと交流の場として、エコルとごしがオープンしました。環境保全を通じて、区内はもとより他地域ともつながる交流拠点を目指しています。

地球環境にやさしい公共施設

「品川区環境基本計画」に基づき施設として開設

地球温暖化による影響が年々顕著となる中、品川区では区の地域特性や環境課題などを踏まえ、平成30年3月に「品川区環境基本計画」を策定しました。この計画では、将来像「みんなで創り育てる環境都市」の実現を目指すた

め、5つの基本目標と重点プロジェクトを掲げ、重点プロジェクトの1つ「学びと体験の機会の充実」を担う施設として、エコルとごしが開設することとなりました。キャッチコピーの「つなぐつづけるつくりだす」には、品川区における環境保全に対する取り組みなどの資源と資源を「つなぎ」、「つづける」（持続可能とし）、「つくりだす」（魅力やにぎわいを創り育てる）との意味があります。

省エネと創エネを実現した「Nearly ZEB」認証建築物

エコルとごしは、都内公共建築物で初めて「Nearly ZEB」の認証を取得しました。「ZEB」とは「Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）」の略称で、使うエネルギーを減らす「省エネ」とエネルギーをつくる「創エネ」を組み合わせ、年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建築物です。削減率により「ZEB」（100%以上）、「Nearly ZEB」（75%以上）、「ZEB Ready」（50%以上）、「ZEB Oriented」（30%以上）の4種類があり、エコルとごしは上から2番目のランク

「Nearly ZEB」です。竣工時点で従来の建物と比較して91%のエネルギー量の削減が見込まれています。具体的な取り組みには、太陽光発電設備（1日当たりの発電量が一般家庭約11世帯分）、蓄電池（夜間及び災害時の電力供給に使用。一般家庭約6世帯分）、LED照明＋昼光感知器＋人感センサー（蛍光灯と比較して約70%の電力使用量削減）、地中熱利用（安定した地中熱を空調設備に使用することで空調負荷を軽減）などがあり、その他にもトイレの洗浄水に雨水利用、夏場の室温上昇を防ぐ壁面緑化など省エネにつながる建築がされています。

屋上に設置した288枚の太陽光発電パネルは、区有施設で最大規模



エコルとごし
HP: <https://ecoru-togoshi.jp/>



住所：東京都品川区豊町 2-1-30（戸越公園内）
開館時間：7:00～21:30（貸室のご利用は9:00～）
*3F 展示室、菜園デッキ
1F キッズスペースは9:00～18:00まで
休館日：第4月曜日（祝日の場合は開館し、翌平日休）、
年末年始（12/29～1/3）

◆SDGsの目標達成のため、今私たちができることを考える体験型展示

映像展示

「バランスプラネット」と「いきものタッチ」

環境を学ぶための体験型展示は3階にあり、地球温暖化対策をメインテーマとしています。3つのエリアに分かれ、その1つがこの施設で目玉となる映像展示。小学生以上におすすめの「バランスプラネット」と未就学児におすすめの「いきものタッチ」の2種類があり、タイムスケジュールに沿って上映されます。「バランスプラネット」では「オサエルハウス」（水の使すぎなど日常生活における欲望を抑える）、「メグラストーミナル」（資源はリサイクルする）、「ウミダスファクトリー」（再生可能エネルギーを生み出す）の3つのステージを体験し、都市で生活しながら自然環境を守るために大切なこと（都市と自然のバランス）をゲーム感覚で学びます。空間全体に映し出された映像にタッチし、腕につけたバランスバンドにパワーが溜まる仕組み。楽しく遊びながら学べるようになっていきます。「いきものタッ

チ」は空間全体に大地と水の中という2種類の自然界を映し出し、草花や生き物にタッチすると花が咲いたりカエルが飛び跳ねたり。映像が動くことでふれあいの疑似体験をし、動植物を大切にすることを育むことがねらいです。



いきものタッチ



バランスプラネット



常設展示

「トイカケのジカン」

ここでは1秒、1日、1年、10年という「時間」を切り口に、自分の行動が環境にどのような影響を与えているのかを考えます。「1日」の生活シーンを振り返り、たとえばゴミ出しや洗濯などで環境のためにできることは何か、四季のある日本の「1年」が地球温暖化による気候変動で変わってしまったショッキングな未来の姿など。展示はクイズやパズル形式のものが多く、解説パネルには具体的な区の取り組みや環境課題などが網羅されているので、楽しみながら新たな知識と気づきが得られます。



メッセージ展示

「ミライのタネ」

常設展示からの流れとして「100年」がテーマ。来館者が施設で体験したことを振り返り、「100年後のために今できること」、「100年後の品川区やまちの姿がどうなっていてほしいか」などを考え、カードへ自由に書いて投函したものを展示しています。環境について学んだことを表現するのとで記憶に残し、それを読んだ人が思いを共有するコーナーです。「雨水を使うなど工夫された町になってほしい」、「食べ残しを減らしたい」など、たくさんメッセージが寄せられています。



◆公園の自然を感じながら、憩い、交流する

木の香漂うラウンジで 思い思いの時間を過ごす

1階のコミュニティラウンジは、目の前の公園との一体感がある広々とした空間で自由に過ごせる憩いと交流の場です。床、壁、一部家具には品川区と交流・連携する自治体の木材と、地産地消の観点から東京都の多摩産材を使用しています。床全体に天然の素材が敷き詰められているので、清々しい木の香りが漂い、癒されます。



桜、新緑、紅葉と、一年中戸越公園の豊かな自然を満喫できるコミュニティラウンジ

ラウンジは朝7時から夜9時30分まで開いており、朝の時間帯には公園で体操する人や出勤前のビジネスマン、

日中には公園の散歩途中に立ち寄って休憩する人やベビーカーを引く小さなお子様連れ、お昼すぎから夜にかけては小学生や勉強する高校生や大学生の姿が見られるなど、1日の中で利用者の層が変化します。幅広い世代の方が集い、空間を共有しながら、それぞれが快適に利用しています。

ラウンジの一角には戸越エリアのおすすめスポットや環境に配慮した地域の取り組みなどを紹介する掲示板「戸越みどころマップ」、さまざまなテーマで期間を区切って開催する「企画展示コーナー」、環境に関する書籍の紹介やイベントで制作した作品を展示する情報コーナー「環境シエルフ」などもあります。現在100冊ほどある書籍はラウンジ内で閲覧できます。

また、ラウンジではイベントを開催することもあり、オープンな空間に多くの人が集います。

親子でゆつくり遊べる キッズスペース

コミュニティラウンジの奥は、0歳から3歳までの利用を想定したキッズスペース。品川区内の風景がカラフルなイラストで壁一面に描かれていて、電車や船、魚などの形をしたクッションや色とりどりのマグネットを、壁にはめ込んだり、壁に付けたりして遊べる「しながらパズルウォール・マグネットウォール」が人気です。あたたかみのある木のおもちゃや絵本も用意されており、親子で遊びながらゆつくり過ごせます。キッズスペースの横には給湯器とベビーカーを備えた授乳室、子ども用の手洗い場などが併設されているのも安心です。ベビーカーで来館するリピーターが多く、休日はベビーカー置き場が満杯になることも。赤ちゃんのときはキッズスペースで、4歳になったら「いきものタッチ」、小学生になったら展示全般を体験するなど、子どもたちがエコルとごしと共に時間を過ごし、成長してくれることを願っています。

キッズスペースの外には公園に面して

遊具広場があり、砂場とすべり台が設置されています。ローラー式のゆるやかなすべり台は、施設を訪れた子どもたちにはもちろん、戸越公園が散歩コースの幼稚園児や保育園児にも人気です。



「きれいで使いやすい」と好評なキッズスペース



戸越公園にもともとあった遊具エリアに新設したすべり台

◆区民活動と環境保全活動の拠点としてさまざまなイベントを開催

**幅広い活動に利用できる
地域交流室と
ボランティア室**

建物の2階には地域交流室とボランティア室があり、幅広い活動の拠点となっています。

地域交流室は町会・自治会の会合、

衣服のリメイク活動など、地域の活動

の場として貸室（定員27名）利用が可

能。ボランティア室はエコルとごしの

ボランティアが準備室として使うほか、

品川区に登録する環境保全活動者が使

用できます。ボランティアは高校生か

ら70代まで現在27名の登録があり、そ

れぞれの得意分野を活かしてイベント

や菜園の運営等で活躍しています。



地域交流室



ボランティア室



多目的スペースで行われた
マシンガンズ滝沢秀一氏による講演会

**多目的スペースでは
主催事業の開催や
各種見学の受入れを実施**

最大100名まで収容できる多目的スペースは体験型展示と同じ3階にあります。主にエコルとごしが主催する

イベントの会場として使用されてお

り、貸室としても利用できます。5月

1日のオープニングイベントでは、ゴ

ミ清掃員・芸人・ゴミ研究者として話

題のマシンガンズ滝沢秀一氏を招き、

生活に身近な環境課題を軽快なトーク

で発信する講演会を開催。子ども向け

のイベントでは、毎回定員を上回る応

募があります。なかでも人気があった

のはSDGsをカードゲームで学んで

レゴブロックで体現する「SDGs x レゴワークショップ」、気象予報士によるお天気実験教室など。時には、施設を出てしながら水族館など品川区立

の施設と連携したアウトリーチ型講座

も開催されます。今後のイベントとし

ては戸越公園内で開催する「キャンド

ルナイト」、品川用水を巡るツアーな

どを企画しています。また多目的ス

ペースは、区内小学校・義務教育学校

の社会科学見学受け入れ時のオリエン

テーションや昼食場所としても利用さ

れており、今年度は約20校の受け入れ

を予定しています。全国からの視察も

既に多くのお問い合わせがあり、随時受

け入れを行っています。

**ボランティアを中心に
菜園デッキでガーデニング**

また、多目的スペースの窓側に隣接

した菜園デッキでは、ボランティアが

中心となって野菜やハーブを栽培。ゆ

くゆくは、ここで育てた植物を使った

色染めのワークショップなど、菜園活

動を次の活動につなげることを目標と

しています。



菜園デッキ

開設前のプレイイベント 「戸越公園の木を未来に つなぐワークショップ」



開設前となる3月、隣接する戸越小学校を会場にエコルとごし建設時にせん定した戸越公園の木を使ったワークショップを開催しました。参加した子どもたちは木材利用の大切さなどを学んだあと、グループに分かれて作品づくり。作品の一部は「環境シェルフ」に展示しています。

令和4年度 管理職選考申込状況

**筆記考査は8月20日(土)
試験会場は大正大学**

令和4年度管理職選考の申込状況がまとめました。

〈全体の申込状況〉

I類（全部、分割及び免除受験方式）が732人、II類が49人、合計781人となり、前年度に比べ46人の減少となりました。全体の申込率は、前年度より0.3ポイント減となる4.7%でした。I類技術の選考区分においては、申込者数が9人減少しました。

〈前倒し受験方式〉※3

申込者数は356人となり、申込者数は前年度に比べ16人の増加となりました。

〈分割受験方式〉※1

179人の申し込みがあり、前年度に比べ37人の減少となりました。

〈免除受験方式〉※2

免除資格を得ている398人のうち、270人の申し込みがあり、他の受験方式に比べ高い申込率を維持しています。

I類（全部、分割及び免除受験方式）及びII類

(単位：人、%)

		有資格者数		申込者数			申込率		4年度 合格予定者数	
		4年度	3年度	4年度	3年度	増減	4年度	3年度		
I類	事務	13,073 (8,054)	13,125 (8,181)	510 (88)	528 (98)	△18	3.9	4.0	131*	
	技術	I (土木造園)	675 (114)	685 (102)	94 (4)	100 (3)	△6	13.9	14.6	48
		II (建築)	528 (164)	499 (147)	61 (6)	48 (3)	13	11.6	9.6	
		III (その他)	1,417 (805)	1,436 (855)	67 (10)	83 (17)	△16	4.7	5.8	
	小計A	15,693 (9,137)	15,745 (9,285)	732 (108)	759 (121)	△27	4.7	4.8	179	
II類	事務	666 (157)	656 (162)	34 (8)	46 (11)	△12	5.1	7.0	55*	
	技術	179 (38)	171 (32)	15 (7)	22 (7)	△7	8.4	12.9	14	
	小計B	845 (195)	827 (194)	49 (15)	68 (18)	△19	5.8	8.2	69	
計A+B	16,538 (9,332)	16,572 (9,479)	781 (123)	827 (139)	△46	4.7	5.0	248		

(注) ()内の値は、女性の人数を内数で表したものです。

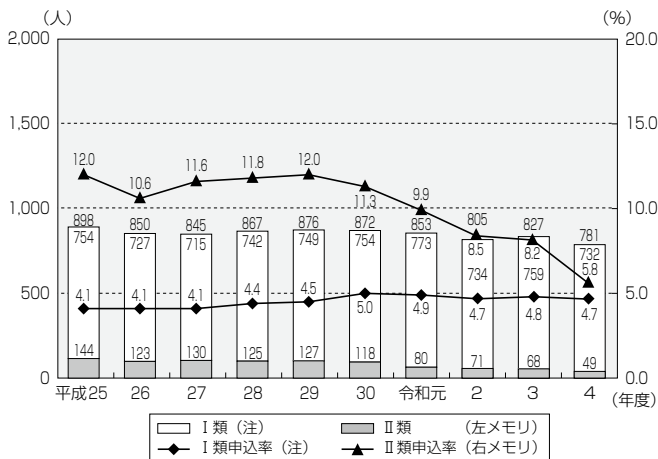
※ I類事務・II類事務の合格予定者数は、各区が算出した必要数の合計で要綱発表時(4月)の人数です。

前倒し受験方式

(単位：人、%)

	有資格者数		申込者数			申込率	
	4年度	3年度	4年度	3年度	増減	4年度	3年度
事務	3,383 (1,688)	3,432 (1,772)	283 (51)	273 (42)	10	8.4	8.0
技術I、II、III	778 (330)	800 (335)	73 (6)	67 (6)	6	9.4	8.4
小計	4,161 (2,018)	4,232 (2,107)	356 (57)	340 (48)	16	8.6	8.0

管理職選考の受験申込者数及び申込率の推移



(注) 全部、分割及び免除受験方式の受験申込者数及び申込率となります。

※1 分割受験方式とは、択一・短答式問題受験の免除資格を得るため、択一・短答式問題のみを受験する方式です。

※2 免除受験方式とは、択一・短答式問題受験の免除資格を得ている人が、記述式問題及び論文式問題を受験する方式です。

※3 前倒し受験方式とは、主任の職にあり、その在職期間が3～5年目の人(経験者採用制度により採用された人等の特例あり)が、択一・短答式問題受験の免除資格を得るため、択一・短答式問題のみを受験する方式です。

行政需要の拡大や組織改正等により今後も需要が一定以上見込まれます。人事委員会事務局は、引き続き積極的な受験を呼びかけていきます。

受験者の皆さんは、体調を整え、万全の状態でご当日を迎えられるよう、しっかりと準備をしてください。

(特別区人事委員会事務局)

令和3年度 特別区人事・厚生事務組合の決算概要

令和3年度の一般会計当初予算額は82億6350万8000円でしたが、その後、財政調整基金等への積立額等の補正を行い、最終予算額は86億3243万7000円となりました。

歳入歳出の決算見込額は、歳入が77億4132万2925円（対前年度比6・9%の減）、歳出が73億2672万9184円（対前年度比5・3%の減）となりました。それぞれの内訳は図1のとおりです。

歳入決算の概要

各区からの分担金は、総額44億5092万6468円（対前年度比0・1%の増）となり、一区当たり平均の分担金は、約1億9400万円でした。

なお、過去5年間の特別区分担金の額と歳出額の推移は表1のとおりです。

歳出決算の概要

事業別歳出の主な内容は次のとおりです。

◎総務管理

21億6795万8532円

（人事事務に従事する職員の人件費及び退職手当等を含む。）

総務事務及び監査事務等を行うとともに、今後の退職手当見込額を踏まえ、財政調整基金への積立

を行いました。

◎人事制度企画

5081万4282円

人事制度の調査研究、労務交渉及び職員相談等に関する事務を行いました。

各交渉等の実施回数は、団体交渉20回、小委員会交渉4回、専門委員会交渉18回でした。また、職員相談件数は622件でした。

◎職員研修

3億5623万3505円

（研修事務に従事する職員の人件費を含む。）

秋葉原の東京区政会館分室において、専門研修、児童相談所関連研修、職層研修、清掃研修、ステップアップ研修、自治体経営研修、サポート研修の体系区分により、共同研修を実施しました。

共同研修の実施回数は279回、受講者数は1万3835人でした（調査研究を含む）。

◎法務

1995万385円

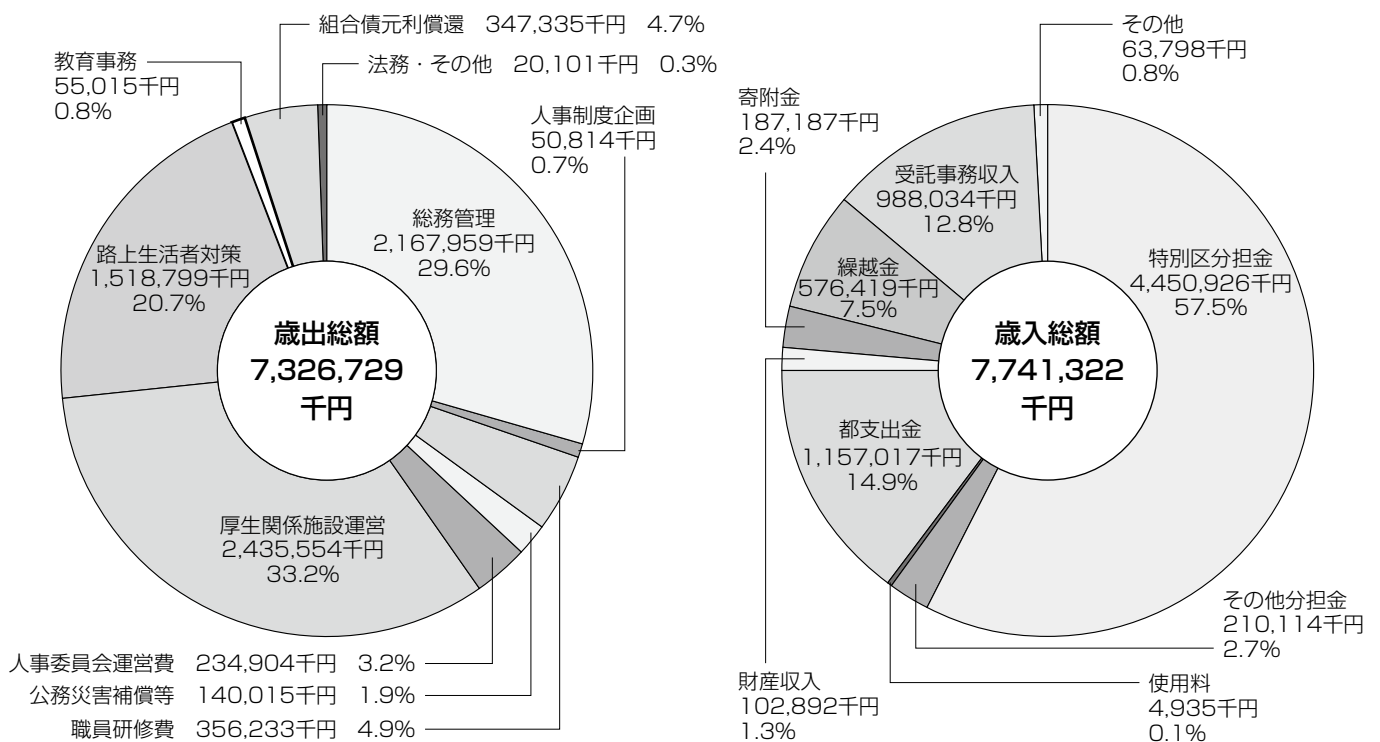
特別区に関する訴訟、調停及び起訴前の和解に関する事務を行いました。訴訟事件受任件数は133件、終了件数は156件、年度末の係属件数は100件でした。

◎公務災害補償等

1億4001万4857円

特別区の非常勤職員に係る公務

図1 令和3年度特別区人事・厚生事務組合一般会計決算見込額



上または通勤途上の災害に対する補償及び特別区職員の公務上または通勤途上の災害に対する見舞金の支給を行いました。

非常勤職員公務災害補償費の支給実績は679件、特別区職員公務災害見舞金の支給実績は75件となりました。

◎人事委員会運営費

2億3490万3685円

特別区人事委員会において、23区職員の採用試験・選考、管理職選考、給与勧告、公平審査等の事務を行いました。

採用試験・選考全体の受験者は1万7389人、合格者数は3676人となりました。

◎厚生関係施設運営

24億3555万4142円

(厚生事務に従事する職員の人件費を含む。)

生活保護法に基づく更生施設(8施設)、宿所提供施設(9施設)及び社会福祉法に基づく宿泊所(3施設)の管理並びに利用者支援及び施設整備を実施しました。

一般施設整備については計55件の改修工事を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止支援として、感染防止対策のために発生する経費を厚生関係施設に対して支出しました。

◎路上生活者対策

15億1879万9549円

路上生活者あるいはそのおそれのある失業者等を援護するため、巡回相談、自立支援、地域生活継続支援を行うとともに、長期化、高齢化した路上生活者に対する居住支援を行う支援付地域生活移行事業を昨年度に引き続き実施しました。

自立支援における自立支援センター入所者は延べ519人、巡回相談件数は延べ5107件、地域生活継続支援事業における訪問相談件数は延べ1024件、支援付地域生活移行事業における入居者数は40人でした。

◎教育事務

5501万4860円

(教育事務に従事する職員の人件費を含む。)

特別区人事・厚生事務組合教育委員会において、幼稚園教員採用候補者選考を行いました。受験者数は306人、合格者数は9人、補欠者は35人となりました。そのほか、園長・副園長・主任教諭昇任選考及び各職層に応じた研修等を行いました。

◎組合債元利償還

3億4733万4709円

組合債の元金及び利子の償還を行いました。

厚生関係施設再編整備計画に沿って実施している改築・改修等

工事に係るものです。

なお、令和4年3月31日時点の組合債の残高は37億1318万9744円で、過去5年間の各年度末現在の残高推移は表2のとおりです。

(特別区人事・厚生事務組合総務部)

表1 特別区分担金及び一般会計歳出額の推移

	特別区分担金		一般会計歳出	
	歳入額(千円)	対前年度比(%)	歳出額(千円)	対前年度比(%)
平成29年度	3,820,168	3.8	8,006,757	8.6
平成30年度	3,885,000	1.7	7,474,835	△6.6
令和元年度	4,325,734	11.3	7,743,422	3.6
令和2年度	4,448,216	2.8	7,739,054	△0.1
令和3年度	4,450,926	0.1	7,326,729	△5.3

※令和3年度は決算見込額

表2 地方債(組合債)の推移

	地方債残高(千円)
平成29年度	4,589,218
平成30年度	4,475,631
令和元年度	4,340,902
令和2年度	4,022,667
令和3年度	3,713,190

令和3年度 公益財団法人特別区協議会の決算概要

令和3年度特別区協議会の予算は、公益法人会計基準に則り、公益目的事業会計、収益事業等会計及び法人会計の3つの会計で編成し、さらに、公益目的事業会計は3区分、収益事業等会計は2区分で経理し、効率的な執行を心掛けました。各会計の決算の概要は、次のとおりです。

公益目的事業会計

特別区の自治に関する調査研究及び普及啓発事業並びに特別区民等の住民福祉の向上に資する知識、教養の普及に関する事業（公1事業）、特別区有物件の火災等による損害の補てん事業（公2事業）、特別区の共同事業の執務及び特別区の連携協議等の場としての東京区政会館等の管理運営事業（公3事業）を行いました。

収入決算額
22億5327万8300円
支出決算額
22億6337万7791円

主な収入は、（公財）東京都区市町村振興協会からの助成金と東京区政会館に係る使用料及び賃料等収入、各区からの分担金です。主な事業内容及び支出は以下のとおりです。

*調査研究事業

1691万9184円

特別区制度研究会では、第7期研究会の2年目として、前期報告の深化につながる「特別区職員の人材育成に資する基礎研究」自治体職員の仕事観と組織のなかの係

長」の最終報告を行いました。

自主研究では、特別区の自治の歩みをたどる「東京大都市地域の物語」シリーズの完結記念として、全5巻限定セットを特別区自治情報・交流センターで配布しました。その他、小学生向けシリーズの第3弾として、区の行政や議会について絵や写真等で分かりやすく紹介した「区の仕事 東京23区」を発行しました。

行政課題の調査研究として、特別区長会が設置した調査研究機構の事務局事務の委嘱を受け、各区から提案のあった6テーマについて提案区の職員を中心に調査研究を行い、報告書の作成やホームページの管理運営等を行いました。また、令和2年度の調査研究11テーマについて報告会を実施しました。

法務調査事業では、特別区の事務事業に係る法律上の紛争の調査及び研究、情報の収集及び提供を行い、「特別区法務資料（第51巻）」を発行しました。また、特別区等において法律的専門知識を有する職員の確保・育成を推進するため、法科大学院へ通う特別区等職員に対し、その就学に係る費用を助成しました。

*情報提供・普及啓発事業

5106万5563円

特別区が発行する行政資料をはじめ、自治に関する資料等の収集、提供、管理や、一般では入手困難な歴史的資料を購入しました。また、資料の適切な管理のため、保存年限を超過した一般書籍等は廃棄するとともに、区立図書館等へ提供し、有効活用を図りま

した。

さらに、特別区協議会ホームページでも所蔵資料の紹介や、東京大都市地域に関する古い資料及びデータベース化した各種統計資料の提供を行いました。

講座・講演会については、特別区の自治や23区の共通課題を中心に「都市の安全・安心、危機管理」、「社会福祉」、「特別区」をテーマとして開催しました。

また、東京都立大学との共同事業である東京都立大学オープンユニバーシティ講座では、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を講じながら257講座を実施し4767人が受講しました。

都市交流事業については、特別区長会の特別区全国連携プロジェクトをより深化させ、自治体間連携等に関する講演会や同プロジェクトのホームページの管理・運営を行い、特別区と全国自治体との連携交流促進を図りました。また、「茨城ふるさとフェア」を通して、特別区と他都市との相互理解に資する事業を行いました。

その他、観光パンフレットの配架、特別区・東京都・関連団体・全国連携賛同自治体の紹介展示などを実施しました。

*オール東京62市区町村共同事業

6356万1571円

都内の62市区町村共同事業として「CO2削減につながる活動の普及・省エネルギーの促進・温室効果ガス排出抑制」、「みどりの保全と地球温暖化防止対策を推進するための連携体制構築」、「人々が環境を考え、行動できる場の設定」の方針に基づき、（公財）東

京市町村自治調査会とともに事業に取り組みました。

*特別区有物件災害共済事業

9248万3344円

特別区が所有する物件（建物、工作物）が被災した際に損害を補てんする共済事業について、台風による被害をはじめ、火災、落雷、破裂、爆発、風災、水災、雪災及び土砂崩れを対象に実施しました。

〔支払実績〕 9件

7049万5589円

（内訳）
落雷…3区3件
風水災…2区3件
火災…2区3件

*区政会館管理運営

6億8767万374円

当協議会所有の東京区政会館に入居している公共団体、公益団体の執務環境を良好に維持するため、平成26年度に改定した中長期修繕計画を踏まえた建物管理計画に基づき、各種の工事を行いました。また、会館の機能を長期にわたり良好に維持していくために、建物の想定使用期間を70年に延伸する新たな中長期保全計画策定の検討を行いました。

さらに、特別区職員研修所が入居していた旧東京区政会館本館跡地での東京区政会館別館新築工事の進捗管理を行いました。また、しゅん工までの間の同研修所の仮移転先として秋葉原に賃借している東京区政会館分室の管理を行いました。

各会計収入支出決算総括表

(単位：円)

		収入決算額 (A)	支出決算額 (B)	当期収支差額 (C)=(A)-(B)
公益目的事業会計	公 1 事 業			
	特別区の自治に関する調査研究及び普及啓発事業並びに特別区民等の住民福祉の向上に資する知識、教養の普及に関する事業	448,839,714	496,103,962	△ 47,264,248
	公 2 事 業			
	特別区有物件の火災等による損害の補てん事業	57,722,106	93,264,462	△ 35,542,356
	公 3 事 業			
特別区の共同事業の執務及び特別区の連携協議等の場としての東京区政会館等の管理運営事業	1,746,716,480	1,674,009,367	72,707,113	
	小 計	2,253,278,300	2,263,377,791	△ 10,099,491
収益事業等会計	収 1 事 業			
	東京区政会館賃貸事業	116,849,104	102,174,383	14,674,721
	他 1 事 業			
	特別区が連携して実施する事務を支援する事業	32,403,198	30,767,570	1,635,628
	小 計	149,252,302	132,941,953	16,310,349
法 人 会 計				
法人の管理経費		11,553,411	22,931,495	△ 11,378,084
各 会 計 合 計		2,414,084,013	2,419,251,239	△ 5,167,226
内 部 取 引 消 去		△ 11,879,629	△ 11,879,629	0
合 計		2,402,204,384	2,407,371,610	△ 5,167,226

収益事業等会計

東京区政会館賃貸事業（収1事業）及び特別区が連携して実施する事務を支援する事業（他1事業）を行いました。

収入決算額

1億4925万2302円

支出決算額

1億3294万1953円

主な収入は、東京区政会館に係るテナント賃料及び駐車場賃料、

自治体総合賠償責任保険事務手数料です。

主な支出は、以下のとおりです。

*自治調整資金立替事業

特別区の職員が職務に起因して法律上の争いの当事者となった際、その裁判手続等に要する費用の一部を立替えました。

〔支払実績〕
4名 121万円

*自治体総合賠償責任保険事業

特別区が法律上の賠償責任を負担することによって被る損害をてん補する「賠償責任保険」と、法律的責任はないものの道義的立場で特別区が被害者に支払う補償金（見舞金）をてん補する「補償保険」、「予防接種実施主体特約保険」及び「個人情報漏えい保険」に係る各区の保険料を取りまとめ、一括して保険会社と契約しました。

〔支払実績〕

賠償責任保険…90件

3995万3806円

補償保険…153件

241万円

予防接種実施主体特約保険

…実績なし

個人情報漏えい保険

…実績なし

法人会計

理事会及び評議員会の運営等、法人の総務管理を行いました。

収入決算額

1155万3411円

支出決算額

2293万1495円

主な収入は、基本財産運用益です。

※職員人件費、東京区政会館の維持管理経費等は、各会計で按分の上、支出しています。

総合計

各会計の合計から会計間のやり取りの重複を除いた（内部取引消去）後の合計は次のとおりです。

収入決算額計

24億220万4384円

支出決算額計

24億737万1610円

各会計の収入支出決算額及び当期収支差額は表のとおりです。

（特別区協議会総務部）

特別区長会、東京都に対し要望活動を実施 ～令和5年度東京都の施策及び予算に関する要望～

特別区長会は、7月25日東京都庁において、令和5年度の都の施策及び予算に関する要望を行いました。

当日は、山崎会長（江東区長）、武井副会長（港区長）、成澤副会長（文京区長）、樋口幹事（千代田区長）、坂本幹事（板橋区長）、青木幹事（葛飾区長）が、黒沼東京都副知事に要望書を手渡しました。

【施策及び予算に関する要望】

要望の内容は、各区から提出された項目をもとに、区長会で決定されたものです。

新規要望項目を含め、計22項目の課題について要望しました。

山崎会長からは、特に以下の4点について重点的に発言がありました。

①児童相談所設置の促進について、令和4年7月までに、6区が児童相談所を開設し、今後も順次開設が続くが、都と区の連携による児童相談体制の大幅な拡充につながるよう、引続きの支援をお願いする。

なお、今年度の財調協議において、配分割合を協議することを合意している。令和2年度財調協議では、都側からの提案で、令和4年度には区兎相の通年の決算実績が確認できることから、この実績を基に配分割合を変更するというところで、総務局長出席のもと、区長会総会で承認されている。都にはこれを前提に協議に臨むことを

お願いする。

特別区が安定的に児童相談所の運営を行い、児童虐待事件などから子どもを守るためには、その財源は重要である。今年度の協議において、適切な配分割合が実現するよう対応をお願いする。

②都区の役割分担に関する協議の実施については、都区のあり方検討委員会の再開、全国で唯一特別区だけが外されている用途地域の都市計画決定権限の移譲等都市計画事業の役割分担や財源のあり方の協議の場の設定、都市計画交付金の拡充、固定資産税・市町村民税法人分等の政策的減免に関する事前協議をお願いする。

③災害対策については、切迫性が指摘される首都直下地震及び南海トラフ地震、激甚化する豪雨災害対策が喫緊の課題とされる中で、広域的な対策が必要な帰宅困難者対策、大規模水害時における広域避難に係る体制整備等、国への対応も含め、具体策を講じること。

④高校生等医療費助成事業補助についてでは、今般特別区は、これまでの乳幼児医療費助成等と同様に、都の提案の枠組みを超えて、令和5年度から所得制限なし・自己負担なしで実施することとした。子育て支援にかかる施策では、所得制限を設けるべきではないというのが特別区の考えである。東京都も、その考え方に沿うべき。また、本事業の提案者である都が、財源等について、すべて

責任を持つべきであり、少なくとも4年目以降も都が財源を負担すべきものと考ええる。所得制限及び自己負担の取扱いとその財源を含め、都が誠実な協議を行うよう要請しました。

武井副会長からは、区による児童相談所設置・運営が財源配分の変更事由に該当することは共通認識であると考えており、誠実に協議すべきこと、成澤副会長からは、高校生の医療費無償化等に関して、こうした施策については本来実際に事務を執行する最前線の意見を聞いた上で制度設計をすべきであることについてそれぞれ発言がありました。また、青木幹事からは、都市計画交付金について事業実績に見合った配分をし、都と区が連携して東京都全体を国際都市にふさわしい街にしていくべきとの発言がありました。

【都の回答】

応じた黒沼副知事からは、「要望の内容は私から責任をもって知事に伝える。」と発言したうえで、令和2年度財調協議においては、児童相談所の運営に関する都区の連携・協力を一層円滑に進めていく観点から、特別区の配分を令和2年度から0・1%増やし、令和4年度まで55・1%とすることとした。令和5年度財調協議においては、令和2年度財調協議における特例的な対応により変更した分も含め、配分割合のあり

方について改めて協議するというのが都と区の唯一の合意であると発言がありました。

総務局長からは、児童相談所設置の促進についての都の対応、また、災害対策について発言がありました。

「令和5年度都の施策及び予算に関する要望」の本文は、区長会のホームページをご覧ください。
(www.tokyo23city-kruchokai.jp)

(特別区長会事務局)



東京都への要望活動の様子

令和5年度 都の施策及び予算に関する要望事項一覧（特別区長会）

要望事項	要望の趣旨	要望先
1 治安対策の強化	(1) 総合的な治安対策の強化及び安全・安心まちづくり施策の拡充 (2) 地域の防犯力の強化	・生活文化スポーツ局 ・警視庁
2 特別区都市計画交付金の拡充	(1) 都市計画事業の実績に見合う配分 (2) 全都市計画事業の交付対象化 (3) 交付率の上限撤廃等の適切な改善	・総務局
3 都区の役割分担に関する協議の実施	(1) 都区制度改革・地方分権の趣旨を踏まえた役割分担や税財政制度等に関する協議の再開 (2) 用途地域等都市計画決定権限の移譲等に関する協議の実施 (3) 都区の共有財源に係る政策的減免の新設・拡大を検討する際の事前協議	・総務局 ・主税局 ・都市整備局
4 減収補填対策の確保	(1) 特別区の減収補填債の発行に関する国への働きかけ	・総務局
5 子育て支援策の充実	(1) 子ども・子育て支援新制度等への対応 (2) 待機児童対策に係る特別区の独自施策への財政支援、保育施設の整備への対応	・福祉保健局
6 児童相談所設置の促進	(1) 児童相談所の移管に係る財政措置 (2) 児童相談所開設時の立ち上げ支援 (3) 児童相談所設置後の運営について、社会情勢の変化や見直すべき課題が生じた際の見直しに協力すること (4) 児童相談所の移管に係る都有財産の活用 (5) 児童養護施設等の負担を軽減するための措置 (6) 都児童相談所の再編に関する区との協議	・総務局 ・福祉保健局
7 ホームレス自立支援策の充実	(1) 就労対策のさらなる充実と住宅対策の強化 (2) 生活保護費の都費負担期間の延長等 (3) 都市部への集中化によるホームレスに係る対策の推進	・住宅政策本部 ・福祉保健局 ・産業労働局
8 障害者施策の充実	(1) 障害者グループホーム設置促進のための支援の充実 (2) 重症心身障害者の通所施設等の充実と都区の役割分担の明確化 (3) 医療的ケア児等受入施設に対する支援の充実	・福祉保健局
9 高齢者福祉の充実	(1) 事業用地確保に対する補助 (2) 施設整備に対する補助制度の充実 (3) 特別養護老人ホームの大規模改修に対する補助制度の充実 (4) 介護人材の確保・定着及び育成に関する施策の実施	・福祉保健局
10 都有財産の活用	(1) 未利用都有地等の積極的な提供等	・財務局 ・福祉保健局
11 医療体制の充実と整備	(1) 感染症対策における財政措置及び支援 (2) 基準病床数の算定方法の見直し等	・福祉保健局
12 配偶者暴力の防止と被害者保護の充実	(1) 被害者支援と安全な生活、就業・就学支援のための施設整備 (2) 関係機関との連携強化等による総合的な支援体制の構築	・生活文化スポーツ局 ・福祉保健局 ・警視庁
13 医療保険制度の充実	(1) 保険料負担軽減策の更なる実施及び財政支援の拡充 (2) 子育て世帯への支援	・福祉保健局
14 受動喫煙対策の推進	(1) 喫煙所設置等の推進及び支援の拡充 (2) 都有地の活用等の推進 (3) 普及啓発事業の継続	・財務局 ・福祉保健局 ・産業労働局 ・建設局
15 交通システムの整備促進	(1) 鉄道網の整備 (2) 地域公共交通に関する補助の拡充	・都市整備局 ・交通局
16 都市計画道路等の整備促進	(1) 都市計画道路の整備推進 (2) 連続立体交差事業の促進 (3) 東京外かく環状道路等の整備促進	・都市整備局 ・建設局
17 都市インフラの改善	(1) 国道の立体整備 (2) 電線類の地中化の促進 (3) 羽田空港の機能強化に係る対応	・都市整備局 ・建設局
18 災害対策の充実	(1) 土砂災害防止対策の推進 (2) 帰宅困難者対策の推進 (3) 高層住宅の防災対策の推進 (4) 木密地域対策、密集住宅市街地整備促進事業等の一層の充実 (5) 河川・下水道施設（貯留施設等）の整備の推進 (6) スーパー堤防整備等の事業促進 (7) 大規模水害時における広域避難体制の構築 (8) 広域避難場所の早急な整備及び避難誘導等の区との連携 (9) 非常用電源設備等の設置改修促進 (10) 災害廃棄物処理に係る仮置場の確保	・総務局 ・都市整備局 ・住宅政策本部 ・環境局 ・建設局 ・港湾局 ・交通局 ・下水道局 ・教育庁
19 放置自転車等対策の推進	(1) 自転車等駐車場の整備促進 (2) 放置自転車等の撤去 (3) 特別区の取組に対する協力 (4) 自動二輪車等駐車対策の推進 (5) 自転車シェアリングの普及促進	・生活文化スポーツ局 ・都市整備局 ・環境局 ・建設局 ・交通局 ・警視庁
20 都市河川等の環境の改善	(1) 都市河川等の水質改善策の充実	・建設局 ・港湾局 ・下水道局
21 地球温暖化防止対策の推進	(1) 再生可能エネルギーの活用促進と水素社会の基盤整備 (2) 気候変動適応の推進に向けた支援 (3) コロナ禍からの回復時の脱炭素社会への移行に向けた支援 (4) 東京都区市町村との連携による地域環境力活性化事業の継続・補助対象の拡充	・環境局
22 新型コロナウイルス感染症対策	(1) 新型コロナウイルス感染症対策への財政支援 (2) 文化芸術活動への支援 (3) 地域経済対策の充実 (4) 医療体制等の整備、強化及び財政支援 (5) 介護者が不在となった場合の要介護者・要介護障害者の生活支援 (6) 感染症対策の強化 (7) 国民健康保険制度の安定的かつ持続的な運営のための財政支援	・総務局 ・生活文化スポーツ局 ・福祉保健局 ・産業労働局

令和3年度 特別区非常勤職員の 公務災害・通勤災害について

公務災害認定内訳 (令和3年4月分～令和4年3月分)

1 職種別 (単位：件、%)				2 年齢層別 (単位：件、%)			
職種別	令和3年度		前年度 件数		令和3年度		前年度 件数
	件数	割合			件数	割合	
1 区議会議員	0	-	1	10代	0	-	0
2 保育士等	16	21.3	12	20代	2	2.7	12
3 給食調理等	2	2.7	2	30代	6	8.0	7
4 各種指導員	12	16.0	12	40代	16	21.3	5
5 事務補助	12	16.0	10	50代	21	28.0	19
6 用務補助	4	5.3	7	60代	21	28.0	31
7 作業員	1	1.3	1	70代	8	10.7	5
8 福祉協力員	0	-	1	80代	1	1.3	1
9 徴収嘱託員	1	1.3	0	計	75		80
10 施設管理等	1	1.3	2				
11 警備員	0	-	0				
12 児童厚生員等	14	18.7	16				
13 選挙関係	1	1.3	0				
14 栄養士	2	2.7	0				
15 介添員	7	9.3	7				
16 一般業務補助	0	-	0				
17 清掃関係	2	2.7	9				
18 その他	0	-	0				
計	75		80				

3 男女比 (単位：件、%)			
	令和3年度		前年度 件数
	件数	割合	
男性	13	17.3	20
女性	62	82.7	60
計	75		80

■令和3年度の認定状況
特別区非常勤職員の災害認定件数は、公務災害が75件(前年度比5件減)、通勤災害が23件(前年度比1件減)の合計98件でした。公務災害における傾向は、職種別では、最も多いのが「2保育士等」で21・3%、次は「12児童厚生員等」で18・7%、「4各種指導員」及び「5事務補助」が16・0%と続き、これら4つの職種で約7割を占めています。年齢別では、50～60歳代が最も多く全体の5割以上を占めています。さらに、通勤災害での傾向は、職種別で最も多いのが「5事務補助」で30・4%、次いで「4各種指導員」が26・1%で、この2つ

の職種で約半分を占めており、年齢別では、50歳台以上が約7割を占めています。
■災害の発生状況とその原因
公務災害事例の中には、高所にあるものを取ろうとした時に、上からものが落ちてきたり、椅子等から足を滑らせて転落するといった事例が毎年一定数あります。作業の際は、足元をよく確認し、踏み台や脚立などの用具を適切に使用するように心がけてください。また、高所での作業や重量物を取り扱うときには、他の職員にも声を掛け、一人で無理をしないようにしましょう。通勤災害に関しては、年明け

通勤災害認定内訳 (令和3年4月分～令和4年3月分)

1 職種別 (単位：件、%)				2 年齢層別 (単位：件、%)			
職種別	令和3年度		前年度 件数		令和3年度		前年度 件数
	件数	割合			件数	割合	
1 区議会議員	0	-	0	10代	0	-	1
2 保育士等	2	8.7	4	20代	1	4.3	2
3 給食調理等	0	-	0	30代	2	8.7	1
4 各種指導員	6	26.1	5	40代	3	13.0	4
5 事務補助	7	30.4	8	50代	5	21.7	9
6 用務補助	2	8.7	1	60代	7	30.4	5
7 作業員	0	-	0	70代	5	21.7	2
8 福祉協力員	0	-	0	80代	0	-	0
9 徴収嘱託員	1	4.3	1	計	23		24
10 施設管理等	0	-	1				
11 警備員	0	-	0				
12 児童厚生員等	3	13.0	3				
13 選挙関係	0	-	0				
14 栄養士	0	-	0				
15 介添員	1	4.3	0				
16 一般業務補助	0	-	0				
17 清掃関係	1	4.3	1				
18 その他	0	-	0				
計	23		24				

3 男女比 (単位：件、%)			
	令和3年度		前年度 件数
	件数	割合	
男性	3	13.0	2
女性	20	87.0	22
計	23		24

早々に降雪があったことから、通勤時に凍った路面で転倒し、手又は足を骨折した事例が多く見受けられました。歩き慣れている道であっても、積雪時にはスノーブーツを履いたり、手袋や帽子を身に付けるなど、転倒予防対策が必要です。また、天候が悪い時には、普段は自転車通勤であっても、徒歩やバスを利用するなど通勤方法を見直し、余裕をもって安全に通勤するようにしてください。公務(通勤)災害として認定された事例の中には、周囲の安全確認や職場環境の改善、時間にゆとりを持った行動等、ほんの少しの注意により未然に防ぐことが可能な事故が少なくありません。急い

でいるときほど一呼吸置いて冷静な対応を心がけましょう。
■事故にあったときは
公務に起因する災害である場合や通勤途上で事故にあった場合は、すぐに職場の方に事故発生の日時や場所、事故の概要を伝えてください。
また、公務災害の認定請求を行う場合は、速やかに医療機関を受診してください。医療機関を受診する際は、健康保険証を利用せず、必ず公務(通勤)災害の認定請求をする予定であることを伝えてください。(特別区人事・厚生事務組合厚生部)

令和3年度 特別区長会の決算概要

令和3年度の特別区長会の収入支出決算額は、収入額1億6985万235円、支出額は1億5339万8083円。

執行にあたっては、事務事業の適切な運営と経費節減に努めました。主な内容は次のとおりです。

収入

◎各区からの分担金 4600万円（1区あたり200万円）

◎（公財）東京都区市町村振興協会からの助成金 6948万7364円

・特別区全国連携プロジェクト関連事業

・東京2020オリンピック・パラリンピックス競技大会機運醸成等事業

◎負担金 3983万1000円

・広域連携交流事業関係自治体及び区からの負担金

◎前年度繰越金 1453万1871円

支出

◎管理費 3124万2793円

（主な経費）

・事務室使用経費、ホームページの運営等事務局運営経費

◎事業費 1億2215万5290円

（主な経費）

・区長会等の会議体の運営に関する経費

・特別区の事務事業、都区財政調整等の税財政及び都区のあり方検討等に関する調査研究経費

・特別区関係団体への負担金等の経費

・「特別区全国連携プロジェクト関連事業」に係る経費

・「東京2020オリンピック・パラリンピックス競技大会機運醸成等事業」に係る経費

（特別区長会事務局）

令和3年度 特別区議会議長の決算概要

令和3年度においては、収入支出1153万4千円の予算額に対し、決算額は、収入総額931万8961円、支出総額566万7793円となり、差引残高365万1168円を令和4年度に繰り越すこととなりました。

執行にあたっては、事務事業の適正かつ効率的な運営に努めました。

収入

各区からの分担金は、1区あたり27万円で、計621万円を収入しました。

なお、前年度からの繰越金収入が290万3481円、徽章実費徴収分が20万5480円となっております。

支出

令和3年度における支出決算の主なものは、次のとおりです。

・管理費 311万7352円

・東京区政会館維持管理負担金、事務用消耗品購入等事務局運営経費等です。

・事業費 255万441円

議長会運営費、調査研究費及び徽章作成費等です。

（特別区議会議長会事務局）

令和4年第2回特別区競馬 組合議会臨時会の結果

7月19日に第2回臨時会が開かれました。主な付議案件の審議結果は次のとおりです。

《審議結果》

・特別区競馬組合監査委員の選任の同意について

ゆうきくみこ 議員（港区議会議長）（同意）

（特別区競馬組合議会事務局）

令和4年7月 区長会・議長会の主な案件等

区長会

■国民保護法に基づく緊急一時避難施設の指定推進及び災害事例等について

■「東京都パートナーシップ宣誓制度」の創設に係る区市町村との連携について

■令和4年度知事と区市町村長との意見交換について

■HTTの推進に向けた都の取組について

■新型コロナウイルスワクチン接種等について

■特別区のスケールメリットを生かした業務効率化について

■後期高齢者医療広域連合協議会（7月4日開催）報告について

■特別区競馬組合議会臨時会提出予定案件について

■高校生等医療費助成に関する緊急記者会見について

■都区のあり方検討について

■区長会専門部会等の構成について

■各種審議会委員等の推薦について

議長会

■廃棄物処理手数料の改定について

■令和5年度都区財政調整協議における配分割合の変更に関する協議の論点について

■議長会の要望活動について

■令和4年度日中友好交流事業について

（特別区議会議長会事務局）

特別区職員研修所からのご案内

10月の研修メニューを紹介します

●ピックアップ研修

対話によるポジティブ・アプローチ ～課題解決のための新しい視点・手法～

日時：10/13(木)・14(金)
9:00～17:00

対象：係長級以下の職員

内容：○ポジティブ・アプローチに取り組む。

○問題と課題の違いを意識しながら、状況にふさわしい課題を設定する。

○議論と対話（ダイアログ）の違いを理解し、未来志向で考える重要性を学ぶ。

○ファシリテーションとは何かを学び、課題解決に向け効果的に対話の場を進行するスキルを身につける。

○課題の設定から解決策の検討・具体化までの一連のプロセスを学ぶ。

研修名	実施時期	申込条件・メインターゲット(★)
専門研修		
課税①	10/17(月)・10/18(火)・ 10/19(水)・10/21(金)	住民税賦課事務を担当する職務経験2年程度の職員
地域保健	10/12(水)・10/19(水)・ 10/31(月)	保健所・保健センター等に勤務する保健師・栄養士・歯科衛生士等
検査技術	10/28(金)	検査業務に従事する職員
高齢者地域支援	10月中旬	高齢者施策、高齢者保健福祉に携わる職務経験2年以上の職員
大人の発達障害	10月中旬	発達障害のある人への支援に携わる職員
中堅保育士①	10/6(木)・10/14(金)	保育・子育て支援に携わる職務経験10年以上の職員
都市計画街路	10/13(木)・10/14(金)・ 10/18(火)	都市計画街路事業を担当する職務経験1、2年程度の職員
公園	10/25(火)・10/26(水)・ 10/31(月)	公園の設計・施工・管理を担当する職務経験1～3年程度の職員
建築設備(電気)	10/12(水)・10/20(木)・ 10/21(金)	電気設備を担当する職員
建築審査指導	10/25(火)・10/26(水)・ 10/31(月)	建築審査指導を担当する職務経験1、2年程度の職員
児童相談所関連研修		
児童心理司(1～2年目)Ⅰ	10/26(水)・10/27(木)	子ども家庭福祉行政に携わる職員、★児童心理司1～2年目の職員
児童福祉司任用前講習会・ 指定講習会	10/13(木)・10/14(金)・ 10/17(月)・10/18(火)・ 10/20(木)・10/21(金)・ 10/24(月)	児童福祉司任用前講習会：社会福祉主事たる資格を得た後、一定の期間相談援助業務に従事した職員、子ども家庭福祉に携わる職員等 指定講習会：保健師、保育士等一定の期間相談援助業務に従事した職員
ステップアップ研修		
思考力・論理構築力向上⑥	10/17(月)	係長級以下の職員 ★主任の職員
説明力・交渉力強化⑤	10/20(木)・10/21(金)	係長級以下の職員 ★区民対応などの業務を円滑に行うため、分かりやすい説明や交渉力を身につけたい主任以下の職員
クレーム対応⑤	10/18(火)	係長級以下の職員 ★窓口等で区民対応を行っている主任以下の職員
メンタルヘルスマネジメント②	10/14(金)	係長級の職員 ★メンタルヘルスについての正しい知識とメンタルヘルス不調の予防や早期発見・早期対応方法等のマネジメント知識を身につけたい係長級の職員

◆新型コロナウイルス感染症対策により、研修が中止又は延期になる場合があります。予めご了承ください。

※紙面の都合上、10月に実施する研修の一部を紹介しています。

※★は、各研修のメインターゲットとなる方についての表記となります。

※研修の募集及び申込は各区の研修担当を通じて行います。なお、区の意向により参加できる研修が異なりますので、各研修の申込方法や申込期限(研修実施日より一ヶ月程度前)については各区研修担当からの案内をご確認ください。

※研修内容の詳細については、特別区職員研修所ホームページ(<https://www.union.tokyo23city.lg.jp/kenshu/kenshujotop/index.html>)もご覧ください。

(特別区職員研修所)



東京都立大学 オープンユニバーシティ飯田橋キャンパスより 9月開講講座のご案内です！！

●演劇を楽しむ：

【講座コード：2221T014】

新国立劇場『ガラスの動物園』について

本講座は、新国立劇場の協力により実施するものです。新国立劇場・演劇部門の2022/23年シーズン開幕公演は『ガラスの動物園』。テネシー・ウィリアムズの代表作ですが、この度上演されるのは、一昨年3月にパリのオデオン劇場で初演された、イヴォ・ヴァン・ホーヴェ演出による注目のプロダクション。母親アマンダ役を、パリでの公演同様、イザベル・ユペールが演じます。

今回はまず、最初の2回の講座で『ガラスの動物園』という戯曲と作者テネシー・ウィリアムズについて、そして、演劇のみならずオペラ・ミュージカルなど幅広い分野で活躍する人気演出家イヴォ・ヴァン・ホーヴェとフランスの大女優イザベル・ユペールについて、それぞれお話しします。公演鑑賞後の第3回では、フランスで

上演された際の批評も紹介しながら、作品や演出について皆さんと一緒に考え、議論したいと考えています。

講師：新田 孝行

東京都立大学 非常勤講師

慶應義塾大学 非常勤講師

日時：9月21, 28日(水)、10月5日(水)

18:30~20:00 (全3回)

※公演鑑賞日10月2日(日)

受講料：7,500円

場所：飯田橋キャンパス(対面)

※別途、公演鑑賞のチケット代が必要です。

詳しくはオープンユニバーシティホームページをご覧ください。

●英語で読む『フラクタル』

【講座コード：2221G012】

本講座では、ファルコナー著『フラクタル』の第1-2章の一部を原著で読みます。オックスフォード大学出版局の、定評あるA Very Short Introductionシリーズの一冊で、数学の予備知識は必要ありません。

平面上の点をx、y座標で表すこと、関数とはなにか、から始めて、フラクタル図形の作り方までを読みます。フラクタルと言えば、ロマネスコやカリフラワーのような不思議な図形を思い浮かべる方も多いでしょう。そうした図形を数学的に作るのは実はとても簡単です。フラクタルの楽しさを味わいながら、数学用語を学ぶとともに、正確に読む訓練をします。

※テキストの購入は不要です。

講師：服部 久美子

東京都立大学大学院 理学研究科名誉教授

日時：9月3, 10, 17, 24日(土)

11:00~12:30 (全4回)

受講料：10,100円

場所：オンライン形式(録画配信有)

※パソコンやタブレット、スマートフォンを通じての

《オンライン形式》講座となります。

* 講座の概要については、東京都立大学オープンユニバーシティパンフレットより引用しております。(特別区協議会事業部)

※特別区職員互助組合員の方は初回のみ、必ずお電話で同組合員である旨と『組合員番号』をお申し出ください。

<問い合わせ先>

東京都立大学オープンユニバーシティ <https://www.ou.tmu.ac.jp/web/>

Tel.03-3288-1050 (平日 9:00~17:30)

●パンフレットを無料送付いたします。

令和3年度 東京二十三区清掃一部事務組合の決算概要

東京二十三区清掃一部事務組合は、「基本計画・実施計画」に基づき、一般廃棄物の全量中間処理を担い、区民の信頼に応えるべく安全かつ安定した清掃工場等の効率的運営を行っています。

令和3年度の一般会計当初予算額は924億3000万円、補正後の最終予算額は958億5300万円となりました。

決算見込額は下図のとおりで、歳入が965億3050万円（対前年度比4・1%増）、歳出が917億8884万円（対前年度比6・3%増）です。

歳入 清掃工場の建替事業の進捗に伴い、循環型社会形成推進交付金が増収となりました。また、新型コロナウイルス感染症の影響による持込ごみ量の減少は続いています。前年度と比較し、若干の増加となったため、廃棄物処理手数料が増収となりました。

歳出 清掃工場等におけるごみの中間処理を着実に実施した上で、前年度に引き続き目黒清掃工場の建替工事及び江戸川清掃工場の建替工事並びに大田清掃工場第一工場の再稼働に伴う整備工事に加え、港清掃工場の延命化工事を実施しました。

そのほか、埋立処分量の削減を図るため、焼却灰の資源化の規模を拡大しました（令和3年度は約7万1千トン）。
決算の主な内容は、次のとおりです。

歳入決算の概要

◎ 分担金及び負担金

390億円

◎ 特別区分担金です。

◎ 使用料及び手数料

120億8177万3083円

◎ 繰入金

102億1700万円

「特別区分担金」を抑制するため、「財政調整基金」から繰り入れ、財源対策を図りました。

◎ 諸収入

96億7702万7309円

ごみの焼却熱を利用した電力・熱エネルギーの売払収入（88億6240万円）と、ごみから回収した鉄・アルミニウムなど有価物の売払収入等です。

歳出決算の概要

◎ 議会費

850万9486円

議会及び議会事務局の運営に要した経費です。

◎ 総務費

11億1273万4162円

本庁管理経費、安全衛生経費、企画広報経費などです。

◎ 清掃費

702億8972万7096円

施設の管理・運営経費である「清掃費」と、建替や延命化等の経費である「施設整備費」からなっています。

▼ 清掃費

400億2613万2070円

このうち、清掃工場等の運営に係る経費は313億3234万円、不燃・粗大ごみ処理施設の運営に係る経費は61億9301万円、し尿処理施設の運営に係る経費は2億3625万円、焼却灰等の埋立処分に係る経費は22億4004万円です。

なお、焼却灰の資源化に係る経費は、34億5931万円です。

▼ 施設整備費

302億6359万5026円

施設整備計画に基づく事業のほか、清掃工場や不燃・粗大ごみ処理施設の機能向上を図るために要した経費です。

内訳は、目黒清掃工場の建替工事、江戸川清掃工場の建替工事、大田清掃工場第一工場の再稼働に伴う整備工事、港清掃工場の延命化工事、品川清掃工場プラント制御用電算システム整備工事等です。

◎ 職員費

101億8344万139円

本庁及び清掃工場等に勤務する職員の人件費です。

◎ 公債費

40億7027万6565円

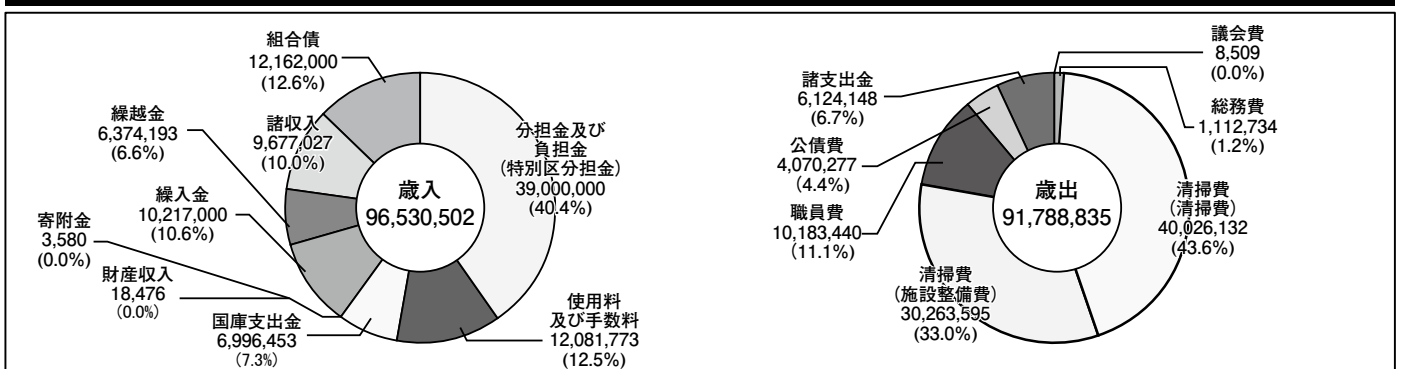
組合債の元金及び利子の償還に要した経費です。

◎ 諸支出金

61億2414万8000円

年度間の調整財源として、「財政調整基金」への積立てを行いました。（東京二十三区清掃一部事務組合 総務部財政課）

令和3年度 東京二十三区清掃一部事務組合決算見込額 (単位：千円)



令和3年度 東京二十三区清掃協議会の決算概要

東京二十三区清掃協議会（以下「清掃協議会」という。）は、23区と東京二十三区清掃一部事務組合の事務の一部を管理・執行するための組織で、廃棄物の収集・運搬に係る契約事務及び一般廃棄物処理業等の許可事務並びにそれらの連絡調整を行っています。
令和3年度の決算額は、次のとおりです。

歳入 11,222万2,311円

清掃協議会は、主に各区の負担金によって運営されています。その他の歳入は、前年度からの繰越金と、諸収入として預金利息がありました。

◎ 負担金 690万円

◎ 繰越金 432万2156円
(各区均等割)

◎ 諸収入 75円

歳出 8,989万9,633円

◎ 総務管理費

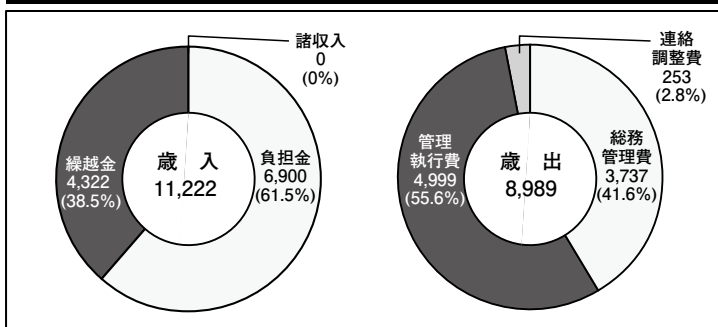
▼ 管理費 373万7344円
清掃協議会事務局の総務及び清掃協議会の会議体の運営に関する事務を行いました。

◎ 管理執行費

▼ 雇上契約事務費 7760円
清掃車の雇上契約に関わる事務を行いました。

（東京二十三区清掃協議会）

令和3年度 東京二十三区清掃協議会決算額 (単位：千円)



（東京二十三区清掃協議会）

▼ 許可事務費

499万1087円
一般廃棄物処理業等の許可に関する事務を行いました。

◎ 連絡調整費

▼ 車両事務費 8万7530円
清掃車両の仕様の調整に関する事務を行いました。

▼ 連絡調整事務費

16万5912円
MCA無線機の借上げに関する事務を行いました。

東京23区のごみ量

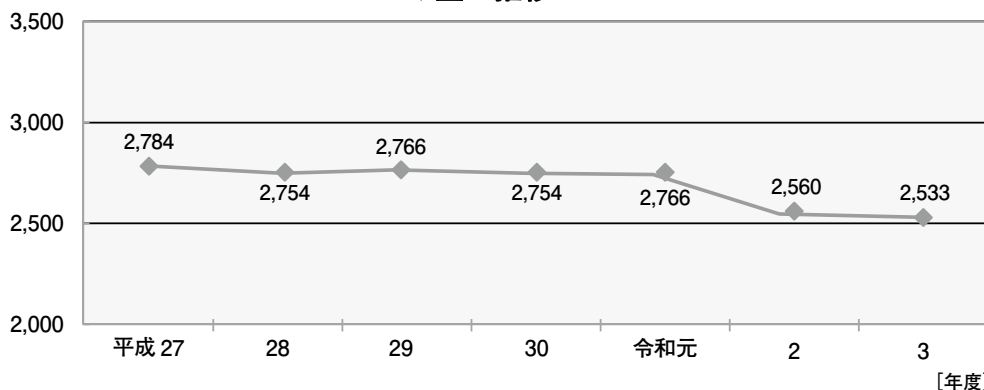
種別	区収集及び持込ごみ量 (単位：トン)		前年度比 (%)
	令和3年度	令和2年度	
区収集	1,767,310.08	1,821,458.85	97.0
可燃 (うち管路)	1,661,496.21 (2,808.07)	1,711,830.15 (2,636.10)	97.1 106.5
不燃 粗大	31,777.04 74,036.83	37,573.53 72,055.17	84.6 102.8
持込	766,169.20	738,353.67	103.8
計	2,533,479.28	2,559,812.52	99.0

令和3年度における23区のごみ量は、区収集及び持込ごみ量を合わせて、253万3479.28トンでした。
前年度と比較して、区収集は5万4148.77トン減少し、持込ごみは2万7815.53トン増加しました。全体では2万6333.24トン減少しました。

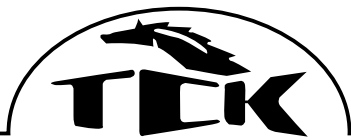
令和3年度 東京23区のごみ量2,533,479.28トン

[単位：千トン]

ごみ量の推移



（東京二十三区清掃一部事務組合
総務部事業調整課）



令和3年度 特別区競馬組合の決算概要

1 競馬事業の状況

令和3年度の大井競馬は、全19開催、97日にわたり開催いたしました。新型コロナウイルス感染症の感染状況や社会情勢を注視しながら段階的な入場制限の緩和、場外発売所における営業の再開等を実施いたしました。新たな試みとしては、左回り競走の実施、TCK公式YouTubeチャンネルでのライブ配信等を実施いたしました。そうした中で、令和3年度の総売得金額は、平成3年度以来30年振りに1,800億円を突破し、1828億6400万円余、1日平均では18億8500万円余で、前年度と比べ8.0%の増加となりました。総利用人員については、1894万人余、1日平均では19万5259人で、前年度と比べ13.5%の増加となりました。

また、年末開催の東京大賞典競走において、地方競馬における1レース売上69億5320万8900円、1日売上104億4805万4290円、1開催売上224億6291万7060円と、それぞれレコードを更新しました。

新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、大井競馬も変化の時代を迎えています。この時代を乗り越え、23区への安定的な財政貢献を果たせるよう努めてまいります。

2 決算概要

令和3年度の競馬事業損益計算による当年度純利益は、162億6600万円となりました。営業収益は1943億1300万円で、主な内訳は大井競馬の勝馬投票券発売収入等からなる競馬開催収益1841億1900万円と、他の競馬場の勝馬投票券を場外発売すること等による場外業務収益101億800万円などとなっています。

営業費用は1777億5400万円で、内訳は大井競馬の開催に要する競馬開催費用1718億7100万円、次いで他の競馬場の勝馬投票券を場外発売するための経費である場間場外費用52億1800万円、什器備品等の資産を令和3年度に費用化した償却費4億6700万円などとなっています。

営業収益から営業費用を差し引いた本業の利益である営業利益は、165億5900万円となりました。

また、営業外収益3億3200万円と営業外費用6億2400万円を差し引いて、営業利益に加算した経常利益は162億6700万円となりました。これに、特別利益と特別損失との差額を加えたものが当年度純利益162億6600万円となります。

3 損益状況及び特別区分配金の推移

過去の損益状況及び特別区分配金についてみると、平成22年度以降黒字決算を続けております。引き続き「23区財政への寄与」という特別区競馬組合の責務を果たしてまいります。最近5年間の純利益及び特別区分配金の状況は、別表のとおりです。

*本文中の金額は、レコード記録を除き、百万円未満切り捨て、パーセントは小数点第2位を四捨五入して処理しております。

(競馬事務局 経理課)

令和4年度の開催成績

(各回対比)

回別	開催日程	売得金額	利用者数	1日平均			前年度同時期対比(1日平均)		
				売得金額	利用者数	1人当り購買金額	売得金額	利用者数	1人当り購買金額
6	6/27~7/1	13,281,111,480円	1,444,467人	2,656,222,300円	288,893人	9,190円	98.9%	107.9%	91.6%
7	7/11~7/15	11,365,849,620円	1,234,038人	2,273,169,920円	246,808人	9,210円	104.8%	114.2%	91.7%

令和3年度競馬事業損益計算書 (単位:百万円)

	金額	内容
営業収益	194,313	
内訳	競馬開催収益	大井競馬の勝馬投票券発売収入等
	場外業務収益	他の競馬場の勝馬投票券を場外発売することでの収益
	その他営業収益	85
営業費用	177,754	
内訳	競馬開催費用	大井競馬開催に要する経費
	場間場外費用	他の競馬場の勝馬投票券を場外発売するための経費
	一般管理費	197
	償却費	467
営業利益	16,559	【営業収益-営業費用】
営業外収益	332	受取利息や東京都競馬株式会社の株式配当金等
営業外費用	624	各区への東京都競馬株式会社の株式配分金及び公課費等
経常利益	16,267	【営業利益+営業外収益-営業外費用】
特別利益	0	過年度修正益
特別損失	1	固定資産除却損
当年度純利益	16,266	【経常利益+特別利益-特別損失】

*百万円単位で端数処理を行っています。

当期純利益及び特別区分配金の推移

決算年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
当期純利益	55億円	61億円	80億円	143億円	162億円
分配金総額	34.5億円	46億円	69億円	115億円	※
一区あたりの分配額	1.5億円	2億円	3億円	5億円	※

*令和3年度の分配金については、未定です。

最近5年間の純利益及び特別区分配金の状況は、別表のとおりです。



9月の開催予定

競馬開催日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
大井																															
川崎																															
船橋																															
浦和																															



東京記念 (SI)
 ●9月7日 (水)
 ●2,400m
 1964年の東京オリンピック開催を記念して創設しました。第1回から変わることなく2,400mの距離で実施している伝統の古馬重賞です。2018年からはグレードが「SII」から「SI」に格上げされました。秋の一番JBCクラシックを目指し繰り広げる激しい戦いに注目が集まります。<上位5頭に埼玉新聞栄冠賞の優先出走権を付与>



アフター5スター賞 (SII)
 ●9月8日 (木)
 ●1,200m
 短距離戦で持ち味を發揮する快速馬たちが、自慢のスピードで残暑を吹き飛ばす1,200mのスプリント戦。東京盃からJBCスプリントへ続く秋の短距離交流重賞に向け、南関東所属の有力馬が始動する注目のレースです。<優勝馬にテレ玉杯オーバルスプリントおよび東京盃の優先出走権を付与>



ゴールドジュニア (SIII)
 ●9月22日 (木)
 ●1,200m
 準重賞として実施されていた「ゴールドジュニア」が2020年から重賞に格上げされ、TCKで行われる最初の2歳重賞となりました。昨年からは距離を1,200mに変更。デビューして間もない若駒たちが集い、翌年のクラシック制覇を夢見て若さ溢れる走りを披露します。<上位2頭にハイセイコー記念の優先出走権を付与>

10月の開催予定

競馬開催日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
大井																															
川崎																															
船橋																															
浦和																															



東京盃 (JpnII)
 ●10月5日 (水)
 ●1,200m
 地方競馬では全国で初となる短距離重賞として、1967年に創設しました。JRAや他地区のスプリンターたちが集結し自慢の快速を披露する、11月のJBCスプリントの行方を占う意味でも大切な一戦です。<優勝馬にJBCスプリントの優先出走権を付与>



レディスプレリュード (JpnII)
 ●10月6日 (木)
 ●1,800m
 プレリュード(前奏曲)の名の通り、JBCレディスクラシックの前哨戦として、JRAも含め、全国各地からトップクラスの実力馬が参戦する交流競走として見逃せない一戦となっています。<優勝馬にJBCレディスクラシックの優先出走権を付与>

パソコンからでも、スマホからでも投票できる!

ネットで地方競馬を楽しむなら!

SPAT4

全国の地方競馬全レースが買える!ライブが見られる!

50円から買える!「トリプル馬単」も発売!

馬券購入でポイントが貯まる!

最短15分でスパッと入会!

お問い合わせは **0120-006-309**

南関東競馬開催日の昼間開催10~17時 / ナイター開催12~21時
 ※20歳未満の方はご利用いただけません。またご利用いただけるのは日本国内在住の個人の方のみです。法人でのお申し込みはできません。

<https://spat4special.jp>

SPAT4

検索



東京メトロポリタンウィーク



●開催期間 ●2022年10月3日(月)~10月7日(金)

編集

- 特別区長会事務局調査第1課
- 特別区議会議長会事務局
- 特別区人事・厚生事務組合総務部総務課
- 公益財団法人特別区協議会総務部総務課
- 東京二十三区清掃一部事務組合総務部総務課
- 特別区競馬組合競馬事務局広報課

- TEL (5210) 9738 ホームページ<http://www.tokyo23city-kuchokai.jp/>
- TEL (5210) 9731 ホームページ<http://www.tokyo23city-gichokai.jp/>
- TEL (5210) 9916 ホームページ<https://www.union.tokyo23city.lg.jp/>
- TEL (5210) 9917 ホームページ<https://www.tokyo-23city.or.jp/>
- TEL (6238) 0615 ホームページ<https://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/>
- TEL (3763) 2170 ホームページ<https://www.tokyocitykeiba.com/>